

Vol.10

ボノロン
と
まなぼう!



もりのふしき もりをまもる「かんばつ」

イラスト/たけだあおい

このコーナーでは、お子さま向けに環境問題・自然のことに関する言葉をボノロンといっしょに学んでいきます。ぜひご家族で対話のきっかけにしてください。



たいへんだワン!
きがきられちゃってる
ワン!

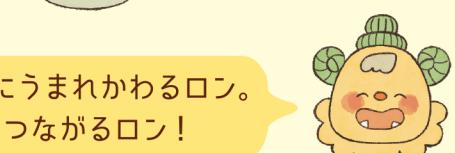


「かんばつ」って
なんだワン?

きがたくさん
はえすぎると
もりがくらくなって
きがそだたず、
いきものも
すみにくくなるロン。
たいようのひかりが
よくあたるように、
きをきってひろくして
あげるんだロン。



きっときは
どうなるワン?



きられたきは、いえをつくるざいりょうや、ぶんぼうぐなどにうまれかわるロン。
「かんばつざい」をつかうことは、もりをまもることにつながるロン!



おうちの方へ 日本の森は約2,505万haあり、国土の約3分の2を占めています。そのうち約3割がコナラなどの里山林、約4割がスギなどの人工林にあたります。これらはいずれも人の手で育成させた森林で、人の手が入らない原生林と異なり、健全な森を維持するために適度な手入れが必要になります。間伐により地表に光が差し込み、下層植生の発達が促され森林の持つ水源涵養機能、土砂災害防止機能、生物多様性保全機能などが増進します。間伐材は建築材や生活用品、バイオマス燃料等に利用され、経済的にも持続可能な森林経営に資することができます。

[参照] 林野庁サイト [監修] セブン・イレブン記念財団 高尾の森自然学校 後藤章

◀ 子どもたちのボランティア
(高尾の森自然学校)
活動による間伐作業